



離見の見

世阿弥の言葉で「離見の見」という教えがある。能の演者は、舞台側からだけでなく、客席で見ている観客の目で自分の姿を見ることが重要であると説いている。これは現代の企業と消費者の関係とぴったり同じである。企業側の売り言葉でワンウェイになりがちな戒めかもしれない。